第３回佐渡市地域クラブ活動推進協議会　会議録

（濱﨑学校教育課課長補佐）

第３回佐渡市地域クラブ活動推進協議会を開催いたします。前回に引き続き、協議会設置要綱では会長が議長を務めることになっておりますので、その間司会進行を務めさせていただきます学校教育課長補佐の濱﨑と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。佐渡市地域クラブ活動推進協議会、伊藤会長より挨拶いただきます。

（伊藤会長）

本日は大変お忙しい中、また足元が大変悪い中ご参集いただきまして、ありがとうございます。まず１月１日発生の能登半島を震源とした地震、石川県中心に大きな被害が発生しております。佐渡市におきましても、被害に遭われた方がいらっしゃると聞いており、心よりお見舞い申し上げたいと思います。また一刻も早い復興をお祈りしているところでございます。スポーツ協会が管轄をしている施設で言いますと、両津総合体育館では天井の網が６枚ほど落下しまして、どこが危ないかもわからない中アリーナの使用は見合わせる状況です。またスポーツハウスはプールの周りが液状化で沈下し、繋がっている管がいくつか破断している状態で、営業が見通せない状況でございます。その他学校の体育館、社会体育施設におきましても被害が発生していると聞いております。利用者にとってはかなり制限がかかる状況かと思いますが、皆様方を中心にご協力いただきまして、何とか活動が続けられるようにお願いしたいと思っております。

地域クラブの活動につきましては、昨年９月から実施をしているところでございますが、今日のこの会は、令和６年度の活動について皆さんにご協議いただくと聞いております。ぜひ活発な意見で成功裏に終わるようよろしくお願いいたします。

（濱﨑学校教育課課長補佐）

次第の報告事項から、会長より議長をお願いいたします。

（伊藤会長）

着座で進めさせていただきます。次第の２、報告事項になります。（１）令和５年度佐渡市地域クラブ活動の実施状況について、事務局より報告をお願いいたします。

（高橋社会体育係長）

令和５年度佐渡市地域クラブ活動の実施状況ということで、資料No.１をご覧いただきたいと思います。今年度地域クラブ活動は９月以降月１回開催しておりまして、12月までで計４回実施済みでございます。１（２）参加者数をご覧いただきたいと思います。現在の申込人数ですが、毎月同じ種目を実施するスキップ型が189名いらっしゃいます。９月の活動当初は158名の登録がございましたが、30名ほど追加で申し込みがありまして、現在189名となっております。またエンジョイ型につきましては、現在延べ人数99名で、当初95名の申し込みがございましたが、こちらも４名増えております。

また、各種目の指導者でございますが、全部の種目合わせて98名の方から指導に携わっていただいております。

２枚目の資料をご覧ください。スキップ型につきましては、吹奏楽、ソフトテニス、バスケットボール、野球、バドミントン、卓球、ということで、それぞれの会場で行っております。会場ごとの指導者数、参加人数の内訳の資料になります。また、下のほうはエンジョイ型の各種目の指導者数、参加人数になっております。

資料１に戻っていただきまして、現在活動した中での周囲の反応でございますが、学校の先生方からは同じ学校の子どもだけでなく、異なる学校の子どもと合同練習する機会はお互いの刺激になってよいという意見をいただいておりますし、保護者の方々からは地域の文化に触れる機会が出来て有り難い。鬼太鼓であったり、マリンスポーツであったり、佐渡の特色を生かした種目に良い評価をいただいている状況でございます

また裏面をご覧いただきたいと思います。生徒の感想です。吹奏楽では自分が忘れていた基礎を思い出せたという意見、野球では色々な人から教えてもらって、もっとレベルを上げていきたいという意見、バドミントンでは他校の人と練習できるのが楽しいというような意見がございます。また、特に能楽やマリンスポーツなどのエンジョイ型の種目の指導者からお聞きした中で、こういう機会を得られて自分たちの種目の魅力をもっと子どもたちに伝えていきたいという中で、また来年も種目の実施を続けてほしいという意見もいただいております。以上実施状況について報告させていただきます。

（伊藤会長）

　ただいま実施状況についての報告がございました。何か質問やご意見ございますでしょうか。

（池田委員）

　池田と申します。よろしくお願いします。今ほどの実施状況の調査の周囲の反応の中で、裏面に地域住民（指導者）とありますが、どちらの割合が多いのでしょうか。指導者のほうなのでしょうか。

（高橋社会体育係長）

　どちらかというと指導者の意見のほうが多いです。

（池田委員）

　全種目の指導者から聞き取りをしたということですか。

（高橋社会体育係長）

　実施している時に、指導者の方に質問等でお聞きしたものを載せています。

（池田委員）

　確認ですが、全種目でよろしいですか。

（高橋社会体育係長）

　全種目の指導者にお聞きしています。

（池田委員）

　私は吹奏楽の指導に携わっているのですが、吹奏楽の指導者からは特に何もなかったということで理解してよろしいでしょうか。

（高橋社会体育係長）

　ご意見いただいた中から抜粋して掲載させていただいております。

（伊藤会長）

　報告事項の（２）休日の部活動から地域クラブ活動に移行についてのアンケート調査結果についてお願いいたします。

（小田学校教育課指導主事）

　学校教育課指導主事小田でございます。私のほうから休日の部活動から地域クラブ活動への移行についてのアンケート調査の結果についてご報告いたします。資料No.２をご覧ください。アンケート対象は市内全中学校13。また中等教育学校、佐渡特別支援学校のそれぞれの中学生と同年代のお子さんたちを対象にしております。実施日は令和５年12月１日から令和５年12月15日でした。アンケート配布の総数は1,180人、回答いただいた総数は690人です。アンケートについて結果を報告いたします。

　問１問２は学校名学年です。15の学校すべてのお子さんからの回答がございました。回答者数は690人。回収率は58.5％でした。内訳については書いてあるとおりです。

　問３です。佐渡市地域クラブ活動への参加等について教えてください。参加しているが26％、参加していないが74％でした。

続きまして、1枚めくっていただきまして問４地域クラブ活動に参加しなかった理由を教えてください。１番多かったのは「特にない」43％、「休日は活動したくないから」16％、「他のクラブチームや団体等の活動に参加しているから」13％、「この活動があることを知らなかったから」11％と続いております。その他の記述内容です。主なものを抜粋して入れさせていただきました。同趣旨についてはまとめさせていただきました。「申し込みをしたが参加できなかった」「忘れていた」というもの、「送り迎えができないから」「他の習い事をしているから」「人数が足りなくて申し込んだけどできなかった」「受験生だから」など多岐にわたる回答がございました。

続いて問５でございます。佐渡市地域クラブ活動に参加してよかったと感じる点についてです。こちらは問３で参加していると回答した181人のお子さんが回答したものです。回答数は456ありました。複数回答ができることになっております。最も多かったものが「スキルアップにつなげることができた」26％、続いて「専門的な指導を受けることができた」17％、「他の学校の生徒と交流できた」17％、「地域の方や指導者と交流できた」13％、「普段できないことが体験できた」14％、「自分の好きなことや興味を見つけるきっかけになった」の順に続いています。その他の記述内容です。「学校では詳しく分からないことが知れた」「他校の人と仲良くなった」「部活の仲間の人たちとの絆的なものが深まった」「練習する場所があること」、これが良いということをそのまま書いてくださっていました。

続いて問６でございます。参加してよくなかったと感じた点についてです。こちらも181人の参加しているお子さんが回答したものです。「特にない」が64％です。続いて「参加人数が少なかった」14％、「顧問の先生と地域の指導者が違うため戸惑った」１％、「他の学校の生徒と活動するのが苦手だから」５％、「申し込みや手続きが面倒だった」４％、「専門的な指導が受けられなかった」２％と続いております。その他については、「親の送迎が大変」「環境に大きな変化がないので部活との大きな差はない」ということを挙げているお子さんもいらっしゃいました。

続いて問７佐渡市地域クラブがどのような活動になったらよいと思いますか。またどのような活動だと参加したいと思いますか。全員に回答を求めています。回答数は690です。最も多かったのが「友達や地域の方などいろんな人と一緒に楽しむことができる活動」34％、「特にない」27％、「１つの種目を追求してスキルアップすることができる活動」26％、「様々な種目を体験できる活動」11％、その他２％となっています。その他の主な記述は下にあるとおりでございます。

続きまして問８地域クラブ活動で参加したい（実施してほしい）種目をスポーツ関係と文化関係に分けて聞きました。全員が回答、こちらの回答数は1,169でございます。複数回答ができるようになっています。多かったのが「特になし」続いてバドミントン、バレーボール、ソフトテニス、バスケットボール、今も行われているものが多くありました。スキー、卓球、ダンス、野球、陸上、駅伝、サッカー、スケートボード、希望が多かったものがそのようになっております。その他につきましては、スノーボード、弓道、スポーツごみ拾い、ズンバ、ハンドベース、体操等ございました。

続きまして問８の２です。地域クラブ活動で参加したい（実施してほしい）種目、文化関係です。特になしが269、ｅスポーツについては文化関係の選択肢に入れさせていただきまして、133の回答でした。次いでイラスト、コンピューター、ギター、写真、吹奏楽、美術、漫画、英会話等、希望が挙げられています。

問９について、こちらは何か気になる点や要望等がありましたら記入してくださいという自由記述です。主な記述をまとめて掲載し、ある程度分類させていただきました。感想・意見に類するもので、「楽しみです。」、「部活の延長で練習する場所を与えてもらい感謝です。活気あふれる活動になると良いと思っています。」等、感想や希望などが書いてある記述がございました。また、参加の仕方等に関することで、「高校生の参加も可能にしてはいかがでしょうか。」、「複数のクラブに参加したい。」、「今だと何をしているのかよく分からないので、クラブの活動を見学できたら良い。」、「高校生も加入できると良い。」、「参加しやすく具体的な紹介がほしい。」、「必要な道具やいくらかかるのかが曖昧」といった要望事項が出ています。実施種目に関することですが、「自転車の種目を増やしてほしい。」、「ダンスとか楽器などの音楽に関わりたい。」、「文科系のものを多く実施してほしい。」、「陸上をしたい。」、「いろんな活動がしたい。」「手芸がやりたい。」というように具体的なものを挙げているものがほとんどでした。施設設備に関することです。「会場のバスケットゴールが邪魔。」、それは実際にやってみて感じたことを書いたものだと思います。最後運営方法に関することですが、「しっかりとした指導者を確保してほしい。」、「佐渡地域クラブ活動の開始時間が早い。」、「できるだけ同じ学年の人とやりたい。」、「練習を多くできるようにしてほしい。」、「環境が変わるのが怖い。」、「今まで土曜が部活、日曜はクラブと同じ種目に取り組んでいました。地域クラブ活動が始まったことにより教えてくれる先生が地域クラブ活動に携わる為、今までの日曜クラブがなしになったり時間が変更されたりしたことが残念です。」、変化によって自分の環境が変わったことを書いていただいた方もいました。最後、「都合により欠席の場合、電話ではなくアプリ、メール機能の方法にしていただきたい。」、出欠連絡についての要望がありました。駆け足でご説明いたしましたが、以上でございます。

（伊藤会長）

　アンケート結果につきまして説明がありました。ご質問やご意見ございますでしょうか。

　それでは、次第の３、議題に入らせていただきます。（１）令和６年度佐渡市地域クラブ活動の方針（案）について、提案をお願いします。

（鶴間社会教育課課長補佐）

　社会教育課の鶴間です。私のほうから資料No.３に基づきまして、令和６年度佐渡市地域クラブ活動の方針（案）ということで、事務局のほうで検討してきた内容について方針として説明させていただきたいと思います。

　1番の実施期間です。令和５年度については先ほどの実施報告でもありましたが、令和５年の９月からこの後３月までを予定しておりましたが、令和６年度からは通年での実施ということになります。ただ、４月から５月上旬にかけては、入学した生徒等がいる関係で、その間は募集をする期間、そして募集したものに対して決定する期間ということで、実施期間としましては、令和６年５月から令和７年３月までと考えております。

　募集の予定スケジュールとしましては、私ども事務局のほうから、４月１日頃に学校に対して案内を配布させていただきまして、学校のほうでは４月８日始業式に合わせて生徒に配布するということをお願いしたいと考えております。募集期間を20日弱とりまして、４月24日頃募集締め切りとし、その後事務局のほうで人数調整等した上で決定させていただきたいと考えております。

　２番の実施日についてです。令和６年度は原則、毎月第１日曜日と第３日曜日の月２回と考えております。ただ、種目によっては前日の土曜日に実施する種目も、今年度同様にあります。また学校行事等の調整によりまして、この原則というのははずれることも生じます。例えば第３日曜日周辺に大きな大会が入っているとか、そのような場合はずらすということもありますので、最終的な確定した日程については、次回３月に行われます推進協議会のほうで示させていただきたいと考えております。

　また、この地域クラブ活動を実施する該当週の土日については、学校の部活動は行わない日とするということで、今年度もそのように学校の協力を得て実施しておりますが、令和６年度についてもそのような形で部活動を行わない日に地域クラブ活動を行うということで考えております。

　３番の年会費です。令和５年度1,000円ということで実施しておりましたが、令和６年度は年間を通した年会費として2,000円ということで考えております。回数でいきますと、令和５年度は月１回９月から全７回ということでありましたが、令和６年度、現在の方針でいきますと、月２回５月からスタートということで、全21回くらいになると計算しておりますので、回数も増える分、金額についても多少の値上げがされていくということでご理解いただきたいと思います。

　４番の運営方法です。この地域クラブ活動をどう運営していくかというところですが、今年度につきましては全て教育委員会が運営主体となりまして実施しておりました。ただ、地域移行の観点からみると、この後、市のほうもどんどん離れていく必要があるというところも踏まえまして、令和６年度の方針としましては、スキップ型については引き続き教育委員会が行いますが、エンジョイ型等体験的なものについては、民間団体でありますスポーツ協会や文化財団への委託を検討しております。これは団体との調整中でございますので、今後どうなるかというのはまだ不透明な部分がありますが、そのように地域移行を進めていきたいと考えております。

　５番の実施種目です。スキップ型については、スポーツ・文化ともに今年度実施している競技を引き続き実施したいと考えておりますので、ここに記載している７種目でスキップ型を運営したいと考えております。エンジョイ型につきましては、回数も増加しますので、なるべく新たなものを取り入れて、魅力あるものにしていきたいということで、事務局内でアンケート結果等をもとに検討してまいりました。まだ確定ではございませんが、現時点で何とか指導者を確保できそうなもの等を示させていただいております。スポーツでいきますと、新たな種目、今年度実施していない種目については太字で下線を引いてありますが、今年度やっているマリンスポーツ、トレッキング等に加えまして、体操等を新たに加えてみてはどうかということで考えております。文化につきましては、華道、人形芝居、能楽、鬼太鼓等々の佐渡の伝統文化等も含めながら、引き続き実施していきますが、新たな種目として書道、三味線、英会話、将棋、囲碁、プログラミング、eスポーツなどを取り入れられないかということで検討しております。このeスポーツについては、括弧書きで示させていただいておりますが、先ほど報告がありましたようにアンケートではかなり上位の人気があります。ただ、このエンジョイ型は佐渡ならではのマリンスポーツや民謡などをそろえている中で、このeスポーツというのを取り入れるのはどうなのか、というところを事務局内でもなかなか結論が出ずにいるところでございます。この後議論いただく中で、いろいろな意見をいただけたらありがたいと思っております。ただ、もし入れても良いということになったとしても、機材の関係や講師の関係など、まだ確定できるものではございませんが、そのあたりはご了承いただきたいと思います。

　６番の指導者についてです。（１）指導者の確保としまして、既に実施している種目の指導者の方々には、引き続き次年度以降もお願いしたいということで依頼の方を進めている状況でございます。また先ほど説明した新規種目についても、指導者になれる方を今探しているという現状でございます。ただ、教職員につきましては、４月１日で

異動を伴うということもありまして、今年度中から来年度の約束をとることができない、また新しい教職員の方も４月に加わることも想定されるという中で、教職員については令和６年４月に兼職兼業の募集をかけて、協力してくれる職員の方を募集したいというふうに考えております。

（２）指導者の育成についてです。今年度も指導者研修会というものを開催させていただきましたが、令和６年度についても上半期中なるべく早い段階で指導者の研修会を行いたいと考えております。※で書いてありますが、この佐渡市の地域クラブ活動の推進計画にも示しておりますが、指導者のモチベーションを高めていくというような狙いもありまして、３年間継続して指導に携わり、こういう研修会に参加した方には指導者マスターとして認定していくようなことも考えております。令和６年度は２年目に当たりますので、まだこのマスターというところまでいきませんが、このようなものも示しながら、ぜひ指導者としても協力をいただきと考えております。

７番としまして、周知等となっておりますが、周知に係るスケジュールです。本日推進協議会でアンケート結果の報告、令和６年度の実施の方針・概要について説明させていただきます。これらの意見をいただきながら、今月から開催されている中学校の入学説明会等でも６年生とその保護者を対象に地域クラブ活動について説明していけたらと考えております。令和６年３月には、再度この推進協議会を開催させていただきたいと考えておりますが、その中で令和６年度の実施計画、確定した計画について協議承認いただきたいと考えております。それを受けまして、４月から募集を開始する、ホームページ等での掲載、先ほど説明しましたように学校を通して生徒への配布等を４月から開始していきます。また併せてポスターの製作掲示等によりまして周知を進めていきたいと考えております。今年度のポスターを前の黒板に貼らせていただいていますが、このようなポスターを作成して参加者を募集しておりました。この推進協議会でポスターを作ってはどうかというご意見をいただきまして、すぐに取りかかって作らせていただいたもので、掲示するのが遅くなってしまいましたが、これを貼った効果もあってか参加人数は増えてきたという状況になっておりますので、令和６年度につきましては早い段階でこういうものを作りまして、各学校、その他公民館等々に掲示して周知募集をしていきたいと考えております。また協議会の皆さんにお配りさせていただいておりますが、毎月活動たよりというものを作らせていただいております。これは学校にも配らせていただいておりますし、生徒保護者にも配布させていただいておりますが、このようなものでもクラブの楽しさ、魅力といったものを伝えながら随時募集をしていく、これも引き続き実施していきたいと考えているところでございます。方針については以上です。

（伊藤会長）

　議題（１）令和６年度佐渡市地域クラブ活動の方針が示されました。これにつきましてご意見やご質問ございますでしょうか。

　私から１点質問させてください。先ほどのアンケートのところで、地域クラブの活動へ参加していない方が74％、４分の３くらいがしていないという話でございました。その中で、活動の種目が増えるということで、４分の３が参加していないことに対して、少ないと取るのか、こんなものとみているのか。また人数は当然増えた方が活動しやすいと思うんですが、そういった中でポスターを作るという方針を示されましたが、参加する人数を増やすために何かその他取り組みがあるのかどうか教えてもらえますでしょうか。

（鈴木教育次長）

　事務局としては想定していたより少なかったと思っていますが、なぜ参加していなかったのかという理由が２枚目にございますが、「特にない」「やりたい種目の活動がなかったから」「この活動があることを知らなかったから」を足すとだいたい60％なので、周知、魅力が伝えきれてなかったのかなと思っています。来年度に向けては、たよりの充実ですとか、ポスターちょっと遅れましたけれど、周知活動を徹底的にやっていきたいと考えているところです。

（金子春人委員）

　９月から始まって、これまで４回実施したということで、アンケートをとって現状把握をされて資料等出してくださり、実際に年度計画を今示されましたが、今のところ４回なんですが、大きな課題として事務局として捉えていることは、どのようなことなんでしょうか。その対応策があって次年度の計画が出てくるんじゃないかと考えるのですが。ただ回数を増やすということではなく、この４回やった中で一番大きな課題となっているのはどんなところなのかお聞かせいただけると有難いです。

　（鶴間社会教育課長補佐）

　現在４回ということで、まだまだ回数は少ない状況ですが、アンケート結果等を見ましても、参加してない方が多いっていうのが課題と考えております。学校部活動は、ほぼ参加しているという状況に対して、この地域クラブの参加が低いのは、土日だからなのか、また興味がある種目じゃないのか、周知が少ないのか、その辺りも考えまして、来年度については種目についても増やしていこう、周知についても早く徹底していこうとか、そのような対策をとっているつもりですが、そのほかにも何か要因があるのか、細かい点までまだ研究ができてないところがありますが、皆様のほうからもご意見、どうなんだということがあれば、ぜひ教えていただきたいと考えております。

　（高橋社会体育係長）

　課題と感じていることについてなんですけれども、周知の部分であったりとか、そういう部分が不足していたこともあって、本当は各種目の会場等をもっと多く実施したいと思っていたんですが、その会場の希望者が１人とかで実施できなかった会場があったりとか、種目によっても実施できなかった種目もありましたので、やはり周知や魅力を伝えることで多くの方に申し込みいただいて、いろんな種目・会場で実施していきたいと考えております。

　（金子春人委員）

　たくさんの場所で実施できればいいわけですが、限られたニーズの中でやっていくわけで、行きたいけど交通の便で行けないというようなそういう理由で参加できない生徒は多くはなかったのでしょうか。

　（高橋社会体育係長）

　送迎については、原則保護者の皆さんにご協力いただいているところですが、実施できる会場が多くあれば、その移動も比較的しやすいような、やはり参加しやすい状況になると思いますので、それも含めて魅力を伝えて、参加者を増やしていきたいということです。

　（岩﨑委員）

　参加者のことが話題になっていますが、以前こちらのほうでとった部活動地域移行アンケート、中学生１・２年生691人にとったアンケート結果の中で、休日の部活動がなくなった場合、休日にどのような取り組みを希望しますかということに関して、365人が休みたい、というようなところもありますので、そんなに急には増えていかないのかなと思っています。地道な宣伝活動、あるいは楽しい内容での取り組みで、徐々に増えることを期待しております。

　（宇治委員）

　令和５年度の実施する中で、月１回文化財団で主催した人形芝居の定期公演と重なってしまったことがあって、地域クラブを選択するか講演を選択するか事例があったんですけれども、他のスキップ型・エンジョイ型の体験の中でそのような大会と重なってしまったという事例はありましたでしょうか。

　（高橋社会体育係長）

　今のところは大きく日程変更しなくてはいけないことはないのですが、来月２月18日（日）に開催するダンスは、指導者の方がイベントに出演する関係で、前日の土曜日に実施させていただきたいということで、そういう部分の日程調整はしたりしながら実施をお願いしているところでございます。

　（宇治委員）

　来年度月２回になってくると、そういった既存の事業やイベント等と重なってくる可能性があると思いますので、その際に生徒の皆さんが迷うことなく混乱することなく選択できるような形でもっていっていただければと思いますし、例えば地域クラブに関連した兼務事業や兼務大会であるとか、柔軟な形で進めていただければと思います。以上です。

　（長尾副会長）

　今のに関連して、どうしても部活動の大会と重なった際には、そちらのほうを優先というような形で来年度も考えてよろしいでしょうか。

　（高橋社会体育係長）

　やはり、大会は優先していただく中で、こちらの地域クラブ活動を実施していきたいと考えております。

　（岩﨑委員）

　クラブの運営に関わることで２点あります。まず、年会費。来年度は一年を通すということで2,000円ということですが、将来自主運営を考えると、もう少し高い設定の方が、将来的にクラブが自主運営をしやすいのではないかと思いますが、この辺来年は2,000円、その次いくら、というように徐々に上げていくのか、その辺の検討も難しいのかなと思っています。２つ目です。やはり会費をいただいた以上、何らかの報告等が使途について必要かと思いますが、年会費の使途についての会計報告が必要であると思いますがいかがでしょうか。３つ目になりました。私、元気トキめきクラブという総合型地域スポーツクラブの理事もやっているのですが、その中で、将来的には地域クラブの立ち上げを考えているのだが、クラブ運営の仕方がよく分からない。例えば賃金、税金の問題。そういったクラブ運営に関わるような、そういう研修会等をしていただけないか、教えてもらいたいというような意見もありましたので、来年度指導者の育成ということで予定されているようですけれども、やはりクラブ運営ということについても必要ではないかと思っています。島内の総合型地域スポーツクラブの中にクラブマネージャーの資格を持っている女性の方がお一人います。恐らく、県内で15人くらいしか持っていない。クラブマネージャーの資格をとるために１週間程度、全国に行って研修を受けてこなければならない。そういったものでありますので、島内ではその方が１番クラブ運営に関しては詳しいのかなと思っています。そういったところで活用していただければと思います。以上です。

　（鈴木教育次長）

　年会費に関しては、安いと思っています。将来的に考えれば、もっと上げざるを得ないとは思っていますが、今はとにかく人数を増やさなければならないということで、できるだけ抑えております。来年度以降参加人数を見ながら、再来年度はどうするかということを考えていきたいと思います。また、クラブの運営の仕方というところで、まさに今後、本格的に地域のほうに移行して、地域のほうで色々なクラブが運営されていくというところにおいては、そういった研修も大事だなと思いますし、マネージャーの方がいるのであれば、ぜひ活用したいなと思っています。今は一応佐渡市が直営ということで、国の補助金をもらいながらやっておりますので、もし具体的にそういったクラブを立ち上げたいというクラブ等があるのであれば、一緒に補助金活用しながら、今回の佐渡市の地域クラブの中にうまく入るような形で一緒にできれば良いかなと考えておりますので、クラブの運営というところは今の段階では少し早いかなと考えております。

　（高橋社会体育係長）

　会費の使った部分については、クラブたより等でこういう費用に充てましたということで報告させていただきたいと考えております。

　（濱辺委員）

　来年度の中学生へはどのような形で募集されるのでしょうか。たくさんの種目の中で、プロフィールやその魅力を書いたようなものがあっての生徒への募集なのか、ただ種目だけ書いてあって、その中から選びなさいという形になるのか。人数を増やしたかったら、それぞれの魅力やプロフィールが分かったほうが、生徒さん達も選択しやすいのかなと思います。

　（鈴木教育次長）

　今現在、募集のしかたの細かいところまではまだ決めていないところですが、まさにおっしゃるとおり見学したいとか様子がもっとわかりたいという話もありますので、今年度やった実績、色々写真等も溜まってきていますし、たより等もありますので、それぞれの種目でどういうことをやるのか、どんな指導者の方が教えてくれるかという、そういう情報面も一緒に考えていきたいなと思っております。どこまでできるかは内部で検討したいと思っています。

（伊藤会長）

　１つ確認させてください。議案ですが、この後承認を受けると固まった話になると思いますが、実施種目、今回新たにスポーツ、文化と案が出ております。これは承認された際に必ずマストになるのか、それともその後委託をするということになっていますので、できるできないが出てくると思いますが、その後でも交渉の余地はあるのでしょうか。と言いますのは、eスポーツ辺りはどうなのか。スポーツで言うと、体操はスポーツ協会に入っていない団体ですので、なかなか難しい面もあると思うのですが、その後でも交渉の余地があるかどうかお聞かせください。

　（高橋社会体育係長）

　実施種目につきましては、今年度の種目、アンケートの結果、また指導者からこういう種目なら指導できますよ、といったお声をいただいたもの等を挙げている状況です。この後、佐渡市スポーツ協会、文化財団にも相談しながら、実施の種目については詳細を詰めさせていただきたいと思っております。

　（伊藤会長）

　文化のほうですと、20種目もあるとなかなか収まりがつかないという感じもしたものですから。捉え方で、実質やってきたものと、アンケートにあったものだけここに入っているという認識で見ていたので、今後できるできないを検討させていただければと思っています。

　（宇治美徳）

　今年度実施の中で、文化ですが、例えば鬼太鼓は指導者１名に対して参加者１名であったり、人形も指導者２名に対して参加者２名であったり、ある種贅沢ではあるんですが、その辺りももう少し幅広く参加してもらいたいと思う。アンケートの中で、参加した生徒の皆さんが「他校の人と交流ができてよかった」という意見も多く見られましたので、募集の中で今、種目に対して生徒が選択するという形もあると思うのですが、例えば似たようなグループで、今月は人形、来月は鬼太鼓、といった似たようなジャンルをグループでやっていくと、毎月、毎回、その友達同士で会えるので、仲間づくりということもあるので、種目の募集に加えて、グループ的な募集というのも、友達づくりになる。元々の推進計画の中でいうと小規模校の友達が少ないところでの多くの人数でできて、という狙いにも合致すると思うので、そのあたりも検討していただければと思いました。

（伊藤会長）

　募集の仕方については、種目、グループ化については、実際委託されたときに協議させてもらうということでよろしいでしょうか。そのほか質問等ありますでしょうか。

　（香遠教育長）

　せっかくの機会ですので、eスポーツを新設することについて、委員の皆さんのお考えを聞かせていただければと思います。

　（宇治委員）

　今、事務局で指導者に該当される方はいらっしゃいますか。あの方なら、というような。

　（鶴間社会教育課長補佐）

　具体的に当たってはいませんが、昨年も佐渡市内でeスポーツのイベント等がありまして、佐渡の方が主になって運営していたという実績は知っていますので、もしやるとなればそういうところに相談すれば、不可能ではないと考えているところです。

　（伊藤会長）

　先ほどですと、種目に関しては今後詳細を詰めるという話をさせていただいたところですが、その前に皆様方のなかでeスポーツを新設するにあたって、皆様どのようなご意見でしょうか。オリンピック種目になるとは言われておりますが。

　（金子春人委員）

　時代の流れからすれば、取り入れても良いのではないかと思う。恐らく、希望者は多いのではないか。指導者が確保できるような形であれば、幅広くやるのも一つの教育かなと思う。

　（池田委員）

　私も同様で、これだけ新設してほしいという要望があるのであれば、実施に向けて動いてみてはいかがかなと思う。

（伊藤会長）
方向としては、できるできないかは今後詳細を詰めていく中で体制や指導者の話はあると思うが、協議会としてはそういった方向でと考えてよろしいでしょうか。

（宇治委員）

事務局のほうで懸念される点、その辺りをお聞かせいただけますでしょうか。機材的、物理的、ソフト的なこともあれば何か、意見があったものがあれば教えていただけると。

（鶴間社会教育課長補佐）

　先ほども説明の中で話したのですが、個人的な考えになってしまうかもしれませんが、

１番懸念しているのは、せっかく魅力的なマリンスポーツや鬼太鼓といった佐渡らしいエンジョイ型を取り入れている中で、eスポーツを取り入れることで、やはりみんなeスポーツに行ってしまうのかなと。本来ここに体験してほしいせっかくのメニューが、先ほどの話ではないですが参加者１名が０名になってしまうことがもったいないという思いもありまして、どうすべきなのかというところは悩んでおります。

　（伊藤会長）

　括弧書きというのはどういう意味合いがあるのでしょうか。

　（鶴間社会教育課長補佐）

　まさに今この場で私どもが考えてもどうしたら良いのかという結論が出ないというところもあって、ぜひここで協議していただきたいという思いで括弧書きで記載しています。

　（坂井社会教育指導主事）

　加えまして、このeスポーツの中の分野というか、そもそもeスポーツがどういうものなのかということを私どもがまだ熟知していない状況でありますし、指導者についても、中学生に対して適切に指導できる方なのかどうかというところまで突き詰めると、なかなか一歩が踏み切れないという状況にあります。

　（伊藤会長）

　今そのような情報もいただいた中で、懸念される材料がいくつか挙がりましたが、はっきりしていない。メリットデメリットがよく分かっていない状況なので、詳細を詰める必要があるのではないかと思います。

　事務局が言ったように、eスポーツを作ると恐らく同日に他３つ種目をやっていますが、他の参加者は確かに危惧される面もございますし、だからといってeスポーツを排除するというのも難しい面があるかと思いますので、整理をしていただいて、どういうことかを見せていただいてから、必要に応じて文書で回してみるとか、方向性が見えてくると思う。今ここでマルバツは難しいと思います。

　（鈴木教育次長）

　種目は確定ではありません。また次回の会議の中で確定したいと思いますので、それまでに我々としても考えを再度整理したうえで、今日のいただいた感触も踏まえて検討していきたいと思います。ありがとうございました。

　（伊藤会長）

　やはりまだ詳細が分からないというところで、新たにもうちょっと具体な話をいただきたいということでお願いしたいと思います。

　繰り返しになりますが、種目についてはこういうところが考えられると提案いただいて、今回この方針を承認された後においても種目は委託を受ける中で詳細を詰めるというふうにご理解いただきたいと思います。その他ありますでしょうか。

　（香遠教育長）

　もう一つ種目につきまして、委員の皆さんのご意見をお聞きしたいことがあります。

　中学校の部活動には、常設部と特設部があります。その特設部というのは、佐渡の少人数の学校の地域柄なんですが、陸上部、駅伝部、これらが季節ものですので、常設ではなく特設ということで、入る子どもは掛け持ちになる場合が多いです。掛け持ちですので、指導する学校の教員も大変です。中学校の部活動の特設部の陸上部、駅伝部のような種目を、この佐渡市の地域クラブ活動でやってもらえるとなると、学校はある意味ありがたいと思うかと思うのですが、一方で、陸上の中のリレー、駅伝はまさにチーム、学校として参加をしている。そういう競技種目です。ですから、大会に出るときには学校名で出るわけです。今、令和６年度の計画では、陸上はスキップ型ではなくエンジョイ型に入れています。なので、陸上を楽しみませんかというような、そういう趣旨でエンジョイに入っているわけですが、令和６年度も令和７年度も今後陸上については、エンジョイで進んでいくことでよろしいかどうか。皆さんの考えをお聞かせいただきたいです。

　（伊藤会長）

　特設というのは、私の中学生の時そうでしたが、長距離に強い人を集めて、大会に出るためにその区間だけトレーニングするイメージが強くある。今の週末に月２回、来年度数は３回でしょうか。その中で特設として成り立つかという話になろうかと思います。

　強くするためになりうるのかという話もあろうかと思うのですが、そういった内容ですか。

　（岩﨑委員）

　一つは今教育長が言われたように、これまで陸上のリレー、駅伝のチームは一つの学校で編成したチームでなければならないという中体連の参加規程があったわけですが、今日参加規程を持っていないので、帰ってもう一度来年度以降の陸上、駅伝のチーム編成の規定を確認して考えなければなりません。同一学校等で編成しなくてもよくなる方針だったのではないかと思います。そういうことで参加できるのであれば、地域の活動としてやっていただいて、スキップ型、要するに競技、に参加すること、あるいは入賞することを目指して活動して、そのまま中体連の大会にも地域クラブとして参加することができます。今エンジョイですが、スキップにできればいけるかと。

　（宇治委員）

　陸上も広いので、団体種目・個人種目・フィールド・トラックがあるので、段階的に分けてみるというのもあるかと思いますが、それは事務局で場所の確保など大変かもしれませんが、フィールド内ですと小規模校は道具が揃わずできないということもありますので、陸上の中の種目によってスキップに入れていけるもの、エンジョイに残すものがあっても良いのではないかと思いました。

　（濱辺委員）

　特設が今後なくなっていくということなのでしょうか。

　（香遠教育長）

　それは学校の先生がたにお聞きしたいところです。今後どういう展望をお持ちですか。

　（長尾副会長）

　最終的に学校部活動がどういう形になるのかを我々もイメージできていないので、当面の間については常設部活動と、特設部活動という形で進めざるを得ないだろうなというのが正直なところです。

　ただ、二つの部活に入っていて、平日の練習をその期間、陸上を目指しての期間、部活動の中で特設に半分、後半自分が本来入っている部活動に半分となるところで、子ども達がどちらに重きを置いたら良いのかと。例えば常設部の活動は、他の子ども達は丸々１時間だったら１時間活動するけれども、特設陸上に入っている子どもは30分

陸上に行って、30分だけということで、色々な考えを持つ子どももいるようです。

　であれば、特設陸上はしないで、常設の活動に集中しようかなという子どももいれば、いやでも二つしたいという形で考える子どももいるのが現状です。

　（金子典央委員）

　質問ですが、佐渡島内で陸上部というのは。

　（長尾副会長）

　常設のものは何もありません。以前なかったわけではないですが、生徒数の関係で常設としての設置は難しいとういうことで。

　（岩﨑委員）

　もう一つ参考までにですが、駅伝は別として、特設の陸上でやっている生徒、常設の部活動をやっている生徒、県大会までいきますとどちらかを選ばなければいけません。両方出ることはできません。下越地区大会までは両方兼ねて出ることができますが、その上はどちらかを選ばなければいけないことになっています。

　（長尾副会長）

　基本的には県大会の日程は、すべての種目を一斉にやることが原則になっていたかと思います。私が分かる生徒だと、陸上・水泳と二つやっていて、水泳も常設ではなくスイミングクラブでやっていて、陸上・水泳の日にちが違っていたので両方県大会の出場権もらったけれども、水泳の出場権は放棄したという生徒がいました。

　（濱辺委員）

　先ほどエンジョイ型かスキップ型にして陸上なり、という話がありましたが、どこどこ中学校の誰だれです、という感じで出るのではなく、佐渡市全体として一つのチームとして今後大会に出るような形になりますか。

　（岩﨑委員？）

　地域クラブとして活動をしたい場合は。

　（濱辺委員）

　今言ったように、個人種目なんですが駅伝やリレーとなった時に、佐渡市の全部から集めた中で選抜されるなりチームを作るといった形で、佐渡市の一つのチームとして出るような形になるわけでしょうか。

　（伊藤会長）

　なるという意味ではなく、それが可能だということです。今のところは学校単位でしか出られないのですが、今後そういうこともルール上は可能になっていく。

　（池田委員）

　もしそうなった場合に、今子ども達が遠征の時に受けている支援などもそのまま継続して受けられるのでしょうか。受益者負担だけ払えば一泊とか交通費とかも。

　（磯部次長）

　中体連に登録しているところには支援、学校単位でなくても、最終的には地域に移行されることを見越したうえで限定ではありますがやっております。

　（伊藤会長）

　教育長から特設について、スキップ型で集めた方がよいのか、それとも今はエンジョイ型で、陸上をやってくれと言われた場合に、陸上というのは投げるもあれば飛ぶもあれば、短距離もあれば長距離もある、何をしますという話を今日聞かせてもらって、今回長距離が良いのではという話で、イメージ的には長距離のイメージ、という話になっているのですが、特設をスキップ型にもっていく、そうすると中体連としては登録が一つになるわけですので、大会に出る際にはスキップ型に入れるべきかという話になるかと思います。個人的には２週間に１回の練習で、駅伝をするのか、短距離をするのか、というのもなかなか難しいのかなという気がいたしますがいかがでしょうか。

　（岩﨑委員）

　今学校では特設ですので、練習する期間もある程度限られるわけです。仮に佐渡市のほうでやっていただいて、年間を通して同じ指導者から指導していただくというのは、大変良いことではないかと私は思っています。また、先ほど子どもも二つ兼ねているわけですが、その辺も自分の部活あり、特設の部活も持っている、ということもありますので、私はもしもそういった陸上のきちんとした指導をしていただけるのであれば、学校から手を放してそちらの方で年間を通してしっかりと指導していただくのが良いのではないかと思っています。

　（香遠教育長）

　とても大きな問題でありますし、今岩﨑校長先生個人としてのお考えかと思いますので、中学校長会でも協議していただいて、そういった声も持ってきて、お聞かせいただければと思います。今日この場では決めることではないと思うので。

　（伊藤会長）

　また次回テーブルに乗ればよろしいかと思いますので、eスポーツと同様に次回お聞かせいただくと良いかと思います。

　（池田委員）

　別件でお願いします。予算についてですが、５年度も６年度も年会費の予算がここに出ておりますが、支出のほうの予算組みというのはあるのでしょうか。例えば野球にこれくらいのお金が必要だとか、バスケットにこのぐらい必要だとか、そういったことの予算組みはあるのでしょうか。

　（高橋社会体育係長）

　今年度の地域クラブの予算、市の予算でいいますと、総額で900万規模の予算を計上しております。収入の部分は、参加費が今年度でいいますと、約30万円ほどになります。それ以外は、国・県の補助がそれぞれ900万の事業費の内、３分の１ずつ補助していただいているので、国が約300万、県が約300万で、受益者の負担金約30万以外の270万を市が負担しているという形になります。支出に関しましては、主な内容は指導者の謝礼です。これが部活動指導員の単価、1時間1,633円×時間数分謝礼をお支払いしておりますし、実施に当たっての必要な消耗品、スポーツですとボール、今年度は初年度でありましたので救急箱等も購入しましたが、そういった活動に必要な用具の購入が主なところで、また参加者・指導者の保険の加入などが主な支出になっております。概算としてはそのような対応になります。

　（池田委員）

　ありがとうございます。私は色々な種目のどこの道具を使っているのか分からないのですが、例えば学校を会場にしているときは学校の道具を使っているのか、施設の時は施設の道具を使っているのか、そういうところまで全部把握してないのですが、今現状では教育委員会で用意したものを使っているという認識でよろしいでしょうか。

　（高橋社会体育係長）

　はい。スポーツで言いますと、例えばバスケットボールですと、当然バスケのボール、救急箱、活動に使うビブスなど、そういうものは全て市で用意して活動している状況ですが、当然施設のバスケットゴールなどは施設のものを借用しながら活動しています。細かい消耗品関係は市で全て揃えて活動している状況です。

　（池田委員）

　ということは、令和８年度からは直営でなくなるということは、それぞれの種目でそういったものを用意していくということを前提としておいた方がよろしいでしょうか。

　道具の消耗品の予算も参加経費の中から、８年度からそういったことも踏まえながら準備していかなければいけないということになるのでしょうか。それとも、団体が。その辺がちょっと難しい。

　（鈴木教育次長）

　８年度以降、補助がどうなるのかというところもあるので、今ここでどうした方がいいのかということは難しいかと思います。

　（池田委員）

　もう２年しかないという言い方もできるんですが、私実際吹奏楽に関わっているのですが、市で集めてくれた楽器の修理調整が必要なのですが、かなり高額にかかります。だからこんなことをまずできないだろうと思って言ってないです、代表の人も。だから、そういうことを将来どうしたら良いんだろうと不安を感じながら今やっていますが、少しその辺り各種目の代表の方にも情報を流していただけると。施策だけではなく、色々な種目の方に情報を流していただけると、皆さんも先行き不安なく活動ができるかと思うので、ご検討いただければ。要望も兼ねてでした。

　（高橋社会体育係長）

　各種目の指導者の皆さまの活動を実施する中での意見や気になっていること、そういうところを聞き取りながら、またそういった意見を吸い上げながら実施を考えていきたいと思います。

　（伊藤会長）

　その他、来年度の活動方針につきまして、質問・ご意見ありますでしょうか。

　では、実施期間は１年間になる。実施日については、今年度は１回でしたが来年度からは月２回程度にする。また年会費は2,000円と変わっておりますし、実施種目はここに記載してありますが、決定後委託をする段階で、種目を実施する競技団体と協議したうえで新たに決定していく。６番以降は記載のとおりというところで、方針について承認される方については拍手でとりたいと思いますがいかがでしょうか。（拍手）

　拍手多数ということで、令和６年度佐渡市地域クラブの活動の方針につきましては承認されました。

　次第の協議議題（２）その他でございますが、事務局として用意しているものはありますでしょうか。

　（高橋社会体育係長）

　皆様のお手元にカラー刷りのスポーツ講演会のチラシを配布させていただきました。講演会のご案内になります。２月11日ですが、スポーツ講演会ということで、講師にジャーナリストの島沢優子さんをお招きしまして、部活から地域クラブへ・子どもを成長させる親の役割とはというテーマで、保護者、そして指導者向けに講演会を実施する運びとなりました。主催は佐渡市スポーツ協会さん、そして教育委員会が共催となって行います。島田さんは、元日刊スポーツの新聞記者で、スポーツや教育等をフィールドに多くを執筆されている方で、各地で講演会等を行っている方です。また沖縄県の部活動改革委員にもなられた方です。今回の講演会につきましては、佐渡市のジュニアスポーツクラブの優良指導者の講習会を兼ねておりますし、地域クラブの指導者の皆さまにもご案内して、ご参加いただきたいと考えております。委員の皆さまもご都合がつけば、ぜひご参加いただければありがたいなと思いまして、ご案内させていただきます。以上になります。

　（伊藤会長）

　ありがとうございました。何か質問はありますか。よろしいでしょうか。

　今スポーツ講演会の話がございました。４番その他とありますが、事務局何かございますでしょうか。特にないでしょうか。

　（金子春人委員）

　２点ほどお願いします。１点目、道具のリユースの募集というのをかけたかと思いますが、その集まり状況がどうだったかということについてお聞かせいただけるとありがたいなと思います。

　（鶴間社会教育課長補佐）

　道具のリユースにつきましては、８月に募集したところですが、合計で人数としましては８名の方から寄付がありました。１人何品も持ってきていただいた方もいまして、種類として野球のバット、グローブ、テニスラケット、卓球ラケット、文化でいいますとギター、リコーダーというようなものを、個数で言いますと23個の寄付がありました。ただ、傷んでいてすぐに使える状況ではないものもありまして、先ほどの池田先生の話ではないですが、修繕が必要な状況もありまして、今すぐにこれを活用できているという状況には至っておりません。

　（金子春人委員）

　この後も啓発して集めるという方向というのは、今の状況を聞くと、あまり良いものも入ってこないような状況ですが、どんなものでしょうか。

　（鶴間社会教育課長補佐）

　前回は募集の期間も短かったですし、また周知の点もあまり広くできてなかったというところもあります。またその使われ先というのがまだ活動していない地域クラブに対しての募集だったもので、そういった意味でもなかなか集まりにくかったかと思いますので、機会をみて、こういう活動で使いますといった紹介もできますので、市民の皆さまにも協力いただけると有難いかなと考えております。

　（金子春人委員）

　今回、開会の挨拶で伊藤会長から能登の地震の話がありました。このクラブ活動指導の手引き、マニュアルを作っていただいて、13ページに突発的な災害・地震・火災が起きた場合ということで記載されております。ちょっと失敗したのは、指導者が自分の地域で指導している場合は良いのですが、出張先に行って指導をするようなケースもあるのではないかと思う。指導者の配置が競技によって、その辺り地域事情というものを把握しておらず、避難することに関して心配するところがありましたので、今回の地震があったことを基にして、もう少し徹底した形での指導、助言でしょうか。そんなことができれば良いかなという個人的な感想です。

　（鶴間社会教育課長補佐）

　ご意見ありがとうございます。確かに今回たまたま地域クラブの日ではなかったですが、その日だったらと考えるとまだ不安な点はあるかと思いますので、内部で検討させていただきます。ありがとうございました。

　（岩﨑委員）

　今回体育施設、体育館等、地震の被害を受けて使用できないところもいくつかあると思います。地域クラブ活動に関して、４月から始めるにあたって影響はないのかどうか。いくつかの体育館では今使用できないで活動していたと思うのですが大丈夫でしょうか。

　（高橋社会体育係長）

　できるだけ復旧、使用できるように修繕等していきたいと思っていますし、復旧状況も見ながら活動には支障がないように会場の確保をしていきたいと考えております。

　（岩﨑委員）

　もう一つ。来年度の活動に関わってくるのですが、例えばマリンスポーツはやはり冬はやりにくいですよね。そういった季節的な活動もありますし、どちらかというと今はとりあえず色々なことをやってみて、そして整理していって、継続的な活動につなげるという時期だと思いますので、先ほどのeスポーツも出ましたが、ぜひどんどんやってみて、例えば１年間、６ヶ月で切って、もう一度整理をして、指導者１名、生徒１名、非常に贅沢な活動ではありますが、本当にそれで将来活動が続いていくのかどうかということを考えると、それは活動が続いていかないと思うんですね。だから、途中で見直すということを考えてもいいのではないかと思います。

　（伊藤会長）

　今のは、半年で１回切る、というお話ですか。

　（岩﨑委員）

　切る、というか、そこのところで実施の状況を見ながら、例えばマリンスポーツは４月から暖かい時にやった方が良いのではないかと。

　（伊藤会長）

　それはそのように配置するはずですが、承認をいただいて１年間やりましょうとなっているので、途中で見直して変えましょうというのは難しいのではないかと思いますが、

例えば中間報告なり、中間のアンケートで何かこうできればということではないかと思います。

（髙橋社会体育係長）

実施の種目につきましては、例えば当然マリンスポーツですと夏場中心にしか活動できないですし、他にもサッカー等も外でやることを考えますと冬場の実施は厳しいなということがあったり、その種目種目で実施できる時期というのがあると考えていますので、この後エンジョイ型については、実施しやすい時期に種目をあてていって、それぞれの種目が実施しやすい環境のなかで実施していきたいと考えているところです。また実施した中で、感想等を聞いた中で、この後翌年度の実施の時期も出していきたいなと考えているところです。

　（伊藤会長）

　その他の中で何かございますでしょうか。

　その他、これでないということでございますので、ここで議長を降壇したいと思います。積極的な意見をいただきまして、参考になったと思います。ありがとうございました。

　（濱﨑学校教育課長補佐）

　伊藤会長、スムーズな進行ありがとうございました。また委員の皆様から貴重なご意見いただきましてありがとうございました。方針にもありましたが、第４回目の協議会を３月に開催することになっておりますので、後でまた日程調整をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

　閉会の挨拶ということで、長尾副会長お願いいたします。

　（長尾副会長）

　大変長時間にわたって、来年度の地域クラブの活動方針をご審議いただきましてありがとうございました。色々な実際に活動してみると課題が生じている部分もあるのですが、その中でどうやってやれることをきちんとやりながら、子どもたちに活動を保障していくかということが一番重要になってくるのかなと考えます。

　先ほど、色々な部分においても、例えばeスポーツであったり、その他いくつかの課題が挙げられているのですが、それをクリアする方向を考えながら、子ども達にとってどういうふうな形の保障ができるのか、どういうふうな活動を進めていくことが子ども達の成長に大きく関わっていくのか、その辺りを考えながら進めていけるといいのかなと思っています。検討課題もたくさん挙がっていますが、ぜひその辺り整理をされて、またご提案いただければありがたいと思っております。本日は大変長時間にわたってありがとうございました。

　（濱﨑学校教育課長補佐）

　それでは、これをもちまして令和５年度第３回佐渡市地域クラブ活動推進協議会を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

（終了）